

ZENBUTSU

全仏



No.
599

仏暦2557年5月
[2014年]



海の里創造基金 植樹祭の様様

目次	被災地の方々が望む復興支援を.....2
	一般財団法人 海の里創造基金理事長 森山 一城
	宮城県気仙沼市復興支援 仏教講座とメモリアルコンサート参加報告.....4
	仏教懇話会 懇談朝食会開催.....5
	本会事業説明派遣のご案内.....5
	フィリピン台風被害に対し支援金を寄託.....6
	第31期 事務総局人事.....6
	全国各地で花まつりを開催.....8

6月号は休刊します

被災地の方々が望む復興支援を

一般財団法人 海の里創造基金理事長 森山 一城

財団設立までの経緯

私共は東日本大震災発生後の四月上旬に宮城県気仙沼市に入り、階上地区の海岸から八〇〇メートルの所にある臨濟宗妙心寺派地福寺の支援に入りました。震災の三年前に落慶したばかりの本堂は、建物は残りしましたが、両側面を破壊され天井近くまで波が来たために、内部は殆ど流されました。住職が「遺族のために何としても四十九日法要をしたい」という願いに、全国から同宗派の青年僧が集結し、「瓦礫撤去、通路の確保、本堂内の清掃、仏具の支度を行い、同年四月二十八日に本堂内に百柱以上のご遺骨を安置して、四十九日法要を厳修されました。

私共は地福寺の復興支援をしながら、階上中学校に設置された避難所にも赴き、被災された方々から要望をお聞きして、関東と行き来する際に支援物資をお届けしてまいりました。

また、地福寺ではブルーシート

による仮の修理によって、風雨をしのげるようになると、多くの方々が来られるようになり、被災した方、被災していない方が語り合い、励まし合い、いつしか集会所のようになり、元氣と希望が生まれる場となりました。私共は信仰心が深い当地の皆さまからお話を伺い、海岸沿いの倒壊した墓石の整頓を始め、後に「ボランティア合掌」を立ち上げ、仮設住宅でもお祈りが出来るよう「合掌セツト」(本尊・香炉・花立・燭台)の寄贈を始め、東北三県でおよそ二千セツトを被災者に寄贈させていただきました。この活動の中で、仏具メーカー様の御協力で中古の寺院用仏具を被災寺院に寄贈するために、寺院の特定を試みました。が、東北沿岸部の自治体単位の地域仏教会は大変少なく、各宗派の御協力で宮城県内の寺院を特定し、寄贈させていただきました。

その後、気仙沼での支援のお手伝いを通じて、今後は僧侶の立場としての活動だけでなく、階上地区の方々が希望する活動を支援していく必要性を感じ、平成二十四年秋に任意団体「海の里創造プロジェクト」を立ち上げ、階上地区の方々が取り組んでいる地福寺周辺の荒涼とした被災地に樹(苗木)を植える活動の協力、音楽会の共催、「祈りの鐘」設置などをいたしてまいりました。また、関東では津波の恐ろしさと震災被害が風化しないように、そして被災地へ足を運べない方でも復興支援が出来る形として「復興マルシェ」を鎌倉市大本山建長寺、川越市蓮馨寺、東京都日比谷公園で開催し、屋台村・写真展・震災語りべ・復興支援コンサートを行い、被災地の方々との交流の中から支援の輪が広がるよう努めてまいりました。そして「海の里創造プロジェクト」の目的並びに活動を発展的に引き継ぎ、階上地区の住民の方々が設立した「NPO法人海への森をつくろう会」と共に復興支援活

動を継続すべく、平成二十六年二月三日に「一般財団法人海の里創造基金」として発足いたしました。評議員に気仙沼商工会議所会頭菅原昭彦氏、元NHKキャスターで現在千葉商科大学政策情報学部長の宮崎緑女史に就任頂き、気仙沼市長のお言葉を頂戴し、減災効果と住民の方々の希望となる「海辺の森構想」「御伊勢浜海岸復活」「地場産業の支援」を中心とした人々が集う街の創造に努めてまいります。更には昨年首都圏で開催した復興マルシェを「東北げんき市場」として開催し、被災地の現状を知



復興マルシェの様相 (鎌倉市大本山建長寺)

つていただくための講演等も開催していただく予定です。また、気仙沼の仮設住宅の方々に音楽・芸能を通じて少しでも和らぎと希望を感じていただけるよう、活動を続けてまいります。

これから必要とされる僧侶としての復興支援「心のケア」

震災から三年の月日が経ちますが、被災地では移転先にも元の場所にも家を建てられず、店舗や住まいが仮設の方々も多く、畑も再生出来ないところがまだまだあり、住民の方々にとっては復興したとは言えないのが現状です。仮設住宅は四畳半二間が平均的な形で、避難所生活から比べればプライバシーは保たれましたが、決して安住なものではありません。しかも仮設住宅はプレハブが多く、暖房などの光熱費も年金生活者や失業された方々には大きな負担となっています。もともと地域のコミュニティの場としてお寺が大きく関わっていました。被災前のご近所同士は、仮設住宅に入居する際



建長寺にて行われた復興支援コンサート

に離れ離れになり、人が集まれる公共的な施設も少ないために、新たな人間関係を構築できず、孤立してしまいう方もおります。家族を失った方や高齢者の「心のケア」として、法話や写経、お茶会、食事会などで会話を楽しんでもらったり、草鞋や念珠、頭陀袋などを一緒に作るような活動であったり、仮設住宅やお寺の近隣の畑作りや植樹など、それらを通じて、希望や楽しみを感じていただくなど、さまざまな支援が出来ると思います。財団設立の前に、私共が行ってまいりました「ボランティア合掌」

の経験から、被災地に地域仏教会が存在しない、あるいは活動していないことが、他県からの地域仏教会や仏教団体の支援活動を減速させてしまい、その結果、主に宗派ごとの支援にとどまっているのではないかと感じました。

この度の震災という非常事態では、他の地域からの情報や支援は、宗派や住職の個人的関係だけになってしまう、情報や支援が届かなかった地域があるかと思われ、また地域を越えた地域仏教会、また全国的に支援団体からの情報提供や支援活動が行われたのではないかと考えます。

今後とも必要とされる「心のケア」を継続していくためにも、全国的な広がりや情報交換出来る各地域の窓口の必要性を強く感じ、さまざまな仏教団体と協力して、東北三県沿岸部の地域仏教会や有志寺院によるネットワークを提案し、微力ながら構築に向けて、支援してまいりたいと存じます。

また、他の地域で起こりうる災

害復興支援対策として、全国的に地域仏教会や有志寺院のグループが構築され、平素から情報交換や親睦を通して「繋がり」が広がることを祈念いたしております。

協賛金のお願いについて

本事業の趣旨をご理解いただき、皆さま方のご協力をお願い申し上げます。

(郵便振替口座)

口座記号番号

0023016171557

ウミノサトソウゾウキキ

海の里創造基金

(銀行口座)

横浜銀行 本店営業部

店番号200

普通預金 6096670

(ザイ)ウミノサトソウゾウキキ

一般財団法人 海の里創造基金

森山 一城



昭和三十五年一月
三十日生まれ
大正大学

仏教学部卒業

臨済宗建長寺派

神奈川県 横浜市

福聚寺 住職

宮城県気仙沼市復興支援

「仏教講座」と「南こうせつ被災地支援

「絆」メモリアルコンサート」参加報告

三月十二日、復興支援事業として（一社）仙台仏教会主催による「仏教講座」と南こうせつ被災地支援【絆】メモリアルコンサートが気仙沼市民会館を会場に約八百名が参加し開催された。同催しは、東京都仏教連合会（以下、東仏）が協賛しており、東仏から山田一眞理事長、新倉典生事務局長ほか事務局員、本会から奈良総務部長、藤田国際部次長が参加した。

●地福寺慰問

仏教講座・コンサートに先駆け、仏教講座でも講師を務める片山秀光師（臨済宗妙心寺派地福寺住職）を慰問した。地福寺は海岸近くに位置し、新築したばかりの本堂が津波被害を受けつつも奇跡的に残った寺である。震災後、伽藍内のガレキを撤去し、現在の本堂を再建したという。客間には震災発生からの記録写真等を常設展示して

おり、天井近くの壁には津波がどこまで来たかを示す印が残っていた。片山師は「めげない、にげない、くじけない、気仙沼」を motto にカッサパ（三迦葉）というバンドを結成し、音楽説法を通して、気仙沼の復興活動を精力的に続けている。地福寺本堂に於いて、山田東仏理事長導師のもと慰霊法要を行った。

●第一部「仏教講座」

仏教講座では、「今私たちにできること」をテーマに、都築幸三仙台仏教会常務理事、新倉東仏事務局長、片山秀光地福寺住職の三名が講演をした。

まず、はじめに主催団体を代表



津波は天井付近まで押し寄せた

して都築師は「震災から三年を迎え、もう三年、まだ三年と個人によつて捉え方は複雑だと思ふ。復興支援をしてきて、個々としてできること、組織としてできることのギャップを感じている。仙台仏教会では、今後も、産業・観光支援をはじめ、自然と共生する『いのちを守る森の防潮堤プロジェクト』等の支援を通し、難儀されている皆さまに寄り添っていきたい。多くの悲しみを乗り越え、多くの想いを確かな教訓として後世にしっかりと伝え、風化させてはいけな

い」と語った。続いて、東仏を代表して新倉師は「東京は関東大震災、東京大空襲から、大勢の方のご支援をいただき、復興を遂げてきた。今度は東京が皆さんを支える番である。悲しみを分かち合い、未来を信じて共に歩んでいきましょう」と被災地へエールを送った。最後に気仙沼寺院を代表して、片山師から「震災直後から、ご遺体を前にお経をあげる毎日が続いた。祈ることで亡くなった方と繋がり、お互いを思いやることで安心することができた。気仙沼の人たちは、海の恵みを授かり生活をしてきた。我々はこれからも海と共に生きていかなければならない。自然の中で生かされて



臨済宗妙心寺派地福寺

●第二部「南こうせつ被災地支援

「絆」メモリアルコンサート

第二部では、南こうせつ被災地支援【絆】メモリアルコンサートと題し、南こうせつ氏のコンサートが開催された。かぐや姫時代の代表曲「神田川」や、故島倉千代子氏に楽曲提供した「からたち小径（こみち）」などを熱唱。来場者からは笑顔と時折涙が溢れ、会場全体が一体となっているように感じた。

仏教懇話会 懇談朝食会開催

三月二十五日早朝に、東京プリンスホテル二階「マグノリアホール」にて、仏教懇話会 懇談朝食会を開催した。

仏教懇話会は、国会議員や政界関係者で、本会の定款に定める目的に賛同し、さらに本会加盟団体・寺院の推薦をうけた方々を会員として活動する会であり、現在百七十人ほどが入会している。

懇談朝食会は、伝統仏教界と懇話会会員の懇談親睦を目的として行っており、今回は自由民主党、民主党、生活の党等の議員と本会関係者あわせて約九十名が参集した。当日は午前七時二十分に開会し、東日本大震災によって犠牲となられた方々に哀悼の意を表し、避難生活を余儀なくされている方々に対し心を寄せるため、出席者全員が起立し黙祷を行った。続いて小林正道本会理事長が導師となり、三帰依文を唱和した後、理事長が開会挨拶をした。

政党を代表して、自由民主党からは衛藤征士郎衆議院議員が、民主党からは衆議院議員の海江田万里党代表が、生活の党からは小宮

山泰子衆議院議員が壇上に立ち挨拶をした。

その後暫く歓談の後、半田孝淳本会会長（第二百五十六世天台座主）が法話を行った。半田会長は懇談朝食会参加者に御礼を述べた後に「仏陀の和の精神を基調として、仏教文化の宣揚と世界平和への寄与を目的として」全日本仏教会の活動が行われているが、「世界の情勢に目を向けると、残酷で人命を軽視する嘆かわしい事件が起き続けている」現状に触れ、特に仏教者としてのこの問題に対して慈愛の精神を発信していきたいとの思いを力強く述べた。そして日本をより良くしていく為に宗教者と政界関係者の更なる連携・協力が不可欠であると話をしめくくった。本会では、加盟団体からの依頼を受けた場合、国政選挙に限り選挙推薦を行っており、今後も仏教懇話会への入会促進等を通じて、政界に対し、伝統仏教界の活動に関する理解を深めていくための活動を今後も強く推進していく。



法話を行う半田孝淳会長

全日本仏教会事務総局員による事業説明派遣に

ご理解とご協力をお願い申し上げます！

本会では、議会あるいは理事会・総会等の開催時に事務総局員が伺い、十五分〜二十分程度お時間をいただいで本会の事業を説明する「事業説明派遣」を行っております。本会が加盟団体を通じて各寺院までつながっていること、寺院・宗派・都道府県仏教会・仏教団体単体ではなかなかできないことを、仏教界を挙げて行っていること等々、また本会に対するご意見・ご要望をお聞かせいただきたく、標記説明派遣を行っております。事業説明に際しては、当日の会合のスケジュールに沿って説明時間の短縮も可能です。また、旅費等の経費は本会で負担いたしますので、趣旨をご理解いただき、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。詳細は全日本仏教会総務部までお問い合わせください。

平成二十四・二十五年度実績

*順不同 敬称略

- ・静岡県仏教会（研修会）
- ・新潟県仏教会（理事会）
- ・神奈川県仏教会（理事会、総会）
- ・東京ブディストクラブ
- ・兵庫県仏教会（理事総会）
- ・愛媛県仏教会（評議員会総会）
- ・長野県仏教会（理事会）
- ・愛知県仏教会（総理事会）
- ・長崎県仏教連合会（研修会）
- ・茨城県仏教会（総会）
- ・栃木県仏教会（実務研修会）
- ・大阪府佛教会（役員・理事総会）
- ・日蓮宗同心会（宗会会派の会合）
- ・臨済宗妙心寺派（宗議会全員協議会）
- ・浄土宗（定期宗議会）
- ・全日本宗教用具協同組合（研修会）
- ・真言宗智山派（教区代表会）
- ・岐阜県仏教会（臨時理事会）

無料法律 相談室

本会顧問弁護士の長谷川正浩弁護士による無料法律相談を毎月第二、第四木曜日の午後開催しております。本会事務総局03(3437)9275へ事前予約の上おいで下さい。

フィリピン台風被害に対し支援金を寄託

平成二十五年十一月に発生した大型台風三十号（ハイエン）の上陸により甚大な被害を受けた、レイテ島をはじめとする、フィリピン全土への支援の一環として、本会に寄せられた支援金三百一万五千八百三十円を仏教NGOネットワーク（以下BNN）へ寄託した。支援金は三月十四日に、関崎幸孝本会事務総長から茅野俊幸BNN事務局長に手交された。

寄託された支援金はBNN加盟団体のシャンティ国際ボランティア会（以下SVA）に渡され現地での支援にあてられる。

SVAはフィリピン台風発生後より、現地に赴き活動しており、



関崎事務総長（左）と茅野BNN事務局長

実際に活動をしている長沢有華さんは「まだまだ支援の手が必要で

あるが、現地の方はみんな笑顔」と述べ、「笑顔を見て、落ち込んでいた自分も笑顔になった」と語った。また、フィリピンの新学期は六月のため、それまでに「子供たちが教育を受けられる施設を完成できれば」と現地への思いを語った。

SVAは一九八一年に設立以来、アジアでの教育・文化支援や国内外の緊急救援活動を実施している。

これまで、国内では阪神淡路大震災、東日本大震災を中心に支援し、国外では主にタイ、アフガニスタン、ラオス、ミャンマーで活動をしている。伝統仏教教団も支援をしており、二〇一一年には公益社団法人に移行。



第三十一期事務総局人事

事務総長 関崎 幸孝（真宗大谷派） 本年六月まで

（管理部門）

総務部長 奈良 慈徹（日蓮宗）留任 部門統括

総務部次長 中村 甲（真宗大谷派）異動

総務部主事 山崎美由紀 留任

財務部長 大辻 隆善（浄土宗）異動

財務部主事 小山 智恵 留任

（事業部門）

社会人権部長 久喜 和裕（曹洞宗）異動・社会担当 部門統括

社会人権部長 町田 法博（真言宗豊山派）新任・人権担当

社会人権部次長 東田 樹治（高野山真言宗）異動

広報文化部長 加久保範祐（真言宗智山派）留任

広報文化部次長 西野 良嘉（天台宗）異動

国際部長 藤谷 弘道（浄土真宗本願寺派）新任

国際部次長 藤田 宗玄（臨濟宗妙心寺派）留任

嘱託 酒井 仁成（浄土宗）留任

退任 鈴木 智信（浄土真宗本願寺派）

退任 田代 弘尚（真言宗豊山派）

事務総局録事

三月(十四日～三十一日)

- 十四日▼フイリピン台風被害救援金手交のためBNN訪問
- ▼無料法律相談室
- ▼プリンスホテル秋山氏来局
- ▼ABS山中氏他来局
- ▼事務所電話回線工事
- ▼日本宗教連盟第八回幹事会出席(神社本庁)
- ▼日本宗教連盟第四回理事会出席(神社本庁)
- ▼民主党原口一博衆議院議員秘書襲田氏来局
- ▼NTT来局
- ▼NTT来局
- ▼事務所電話回線工事
- ▼二十四日▼全日本仏教会理事・監事懇談会開催(東京プリンスホテル)
- ▼二十五日▼仏教懇話会懇談朝食会開催(東京プリンスホテル)
- ▼自由民主党主催「各種団体協議会懇談会」参加(都市センターホテル)
- ▼局内会議
- ▼二十六日▼税務調査
- ▼DAT新藤氏来局
- ▼共同通信西條氏来局
- ▼二十七日▼第三回InterFaith日本実行委員会開催(京都)

四月(一日～十五日)

- 都立正佼成会普門館
- ▼無料法律相談室
- ▼二十八日▼DAT新藤氏来局
- ▼損保ジャパン担当者新任挨拶
- ▼三十一日▼民主党階猛衆議院議員来局
- ▼厚生労働省亀島人道調査室長退任挨拶
- ▼事務総局事務引継
- ▼一日▼事務総局辞令伝達式
- ▼二日▼大和証券佐藤氏来局
- ▼朝日新聞佐藤氏来局
- ▼DAT新藤氏来局
- ▼三日▼浄土真宗本願寺派不二川公勝元総長宗門葬参列(京都西本願寺)
- ▼四日▼日鐵住金建材(株)石川氏来局
- ▼仏教タイムス工藤氏来局
- ▼厚生労働省金尾人道調査室長就任挨拶
- ▼七日▼日本テンプルヴァン来局
- ▼八日▼局内会議
- ▼全日本葬祭業協同組合連合会訪問(東京都港区)
- ▼東京海上日動火災訪問(東京都千代田区)
- ▼自由民主法曹団四月定例会総会出席
- ▼九日▼全日本宗教用具協同組合訪問(東京都千代田区)
- ▼日本テンプルヴァン訪問(東京都新宿区)
- ▼凸版印刷古屋氏来局
- ▼中外日報赤坂氏来局
- ▼十日▼無料法律相談室
- ▼一般社団法人日本石材産業協会訪問(東京都千代田区)
- ▼仏教タイムス工藤氏来局
- ▼文化時報奥野氏来局
- ▼事務所電話回線工事
- ▼十一日▼損保ジャパン訪問(東京都千代田区)
- ▼DAT新藤氏他来局
- ▼野村證券塚寄氏打合せ
- ▼十三日▼内閣総理大臣主催「桜を見る会」出席(新宿御苑)
- ▼十四日▼同宗連総会・交流会出席(横浜立正佼成会普門館)
- ▼釜石仏教会取材(岩手県日蓮宗仙寿院)
- ▼十五日▼自覚大道師取材(大分県曹洞宗善隆寺)
- ▼SMBC日興証券来局

六月号休刊のお知らせ

本会機関誌『全仏』は通年七月と二月に休刊しておりますが、本年に限り六月を休刊し、七月に六〇〇号を刊行いたします。ご了承ください。

—誰にでも「読める」「わかる」仏教の基礎知識と広がり—

【話題の最新刊】

仏教の事典

末木文美士・下田正弘・堀内伸二編集
A5判 580頁 定価(本体8800円+税)
「知る」「考える」「行う」「旅する」「味わう」の五つの視点から仏教を解き明かす、一冊で仏教のすべてがわかる初めての「読む」エンサイクロペディア。

【内容】仏教を知る(教典/教団形成と地域展開) / 仏教を考える(ブツダと聖者たち/教えの展開/他) 仏教を行う(基本的実践/仏教諸潮流の実践/社会的実践) / 仏教を旅する(寺院の形成と機能/他) 仏教を味わう(仏像・仏教美術/仏教文学/年中行事と芸能/他)



朝倉書店

〒162-8707 東京都新宿区新小川町6-29
電話 営業部(03)3260-7631 FAX(03)3260-0180
<http://www.asakura.co.jp>

全国各地で花まつりを開催



神奈川県 鶴見区仏教会

富山県 富山市仏教会



徳島県 徳島市仏教会

神奈川県 金沢区仏教会



長崎県
五島市佛教連合会



奈良県 下市町仏教団



大阪府 東大阪市西佛教会